

Wake me up!!

EAST JAPAN RAILWAY WORKER'S UNION YOUTH CHIBA

2020年 4月25日No.7
JR東労組千葉地本青年部
発行者：鈴木 大貴
編集者：教 宣 部

2005.4.25 あれから15年… 私たちは忘れない!



神戸新聞NEXT 4月24日配信

「人が死ぬってこんななんや」脱線事故、車両乗車者の証言

■「みんな好きじゃない音。その瞬間、『人が死ぬってこんななんや』って」(Cさん)
制限速度を50キロ近く超えていた。カーブを曲がりきれず、電車は左に傾く。耳をつんざく金属音。

1両目で座っていたAさん。自然とあおむけに。その上に、人が降ってくる。「重いけど、耐えるしかない」。身を縮め、目を閉じた。すると、今度は体がふっと軽くなった。重なっていた人たちが吹き飛ばされた。人も荷物も、転がるように飛んでいった。

■「ガンガンガン、バンバンバンって。『ひゃー』とか『きゃー』とかの悲鳴も上がった。本当に何がなんだか」(Aさん)

午前9時18分、脱線。転覆した電車は、線路沿いのマンション「エフュージョン尼崎」(尼崎市久々知3)に激突した。

「私、どこが切れてますか?」。顔中血まみれの人が声を掛けてきた。Aさんは、1両目が突っ込んだマンション駐車場の地下に放り出されていた。

**新型コロナウイルス感染拡大が続く中
雇用や生活面での不安も増しています…
皆が安心・安全に利用出来る鉄道を
新生JR東労組と共に創り上げよう!**